

## m3lab 初代リサイクルセンター長

### 佐々木健多 退任挨拶



二年生の秋に m3lab へ加入して以来、気がつけば四年という月日が過ぎていました。加入当初の私は責任感も常識も欠けており、会議中に居眠りをしてしまったり、展示物を壊してしまったり、研究サンプルを誤って処分してしまったりと、多くの迷惑をかけてばかりでしたが、その度に周囲の方々を支えていただき、少しずつ成長することができました。今振り返ると、この時期の失敗の数々が、後の私に必要な力を与えてくれたのだと思います。

三年生では名取市 PR 動画制作プロジェクトに取り組み、連日バスに乗って撮影を続けたり、古文書解説動画を夜遅くまで編集したりと、精神的にも肉体的にも最も厳しい一年を過ごしました。外部との連絡調整やメール・電話応対に追われ、慣れない作業に冷や汗をかく日々でしたが、この経験を通して社会で必要な対応力を身につけることができました。同時に高専祭やリサイクルセンターの活動も重なり、休む間もなく動き続けた一年でしたが、この時期に得た経験は今でも大きな財産となっています。

四年生では児童センターでのボードゲーム制作や名取市との連携事業に携わり、報告書の作成や日程調整に追われながらも、活動を形にすることができました。説明がうまく伝わらず悔しい思いをしたこともありましたが、子どもたちが楽しんでくれた姿を見て、やってよかったと心から思えました。また、この年には初めて後輩が加入し、m3lab に新しい風が吹き始めたことを実感しました。

五年生では後輩の指導に力を注ぎ、努力を重ねて赤点をなくした姿を見たときには、自分のことのように嬉しくなり、思わず指導教員の先生に報告に行ってしまったほどです。こどもファンドでは責任者として報告書や予算管理を担い、卒業研究と並行して活動を進める日々は大変でしたが、子どもたちに楽しんでもらえたことが何よりの励みになりました。

四年間を振り返ると、愚痴や後悔も確かにあります。特に、自ら主体的に「これがしたい」と行動できなかったことは、今でも心残りとして残っています。しかし、それ以上に、この四年間が私に与えてくれた成長と経験は計り知れず、m3lab で過ごした日々は間違いなく私の宝物です。ここで出会った先生方、先輩方、そして後輩の皆さんに支えられ、今日の私があります。

m3lab に関われたことは、私にとって大切な財産です。ここで多くの方々との出会い、数えきれない経験を得ることができました。

これまで本当にありがとうございました。今後とも m3lab をよろしく願いいたします。

令和 8 年 3 月 31 日